

ポスターコンクール

平成29年9月11日に板橋区明るい選挙啓発ポスターコンクール審査会が開催されました。

区内小・中学校、高等学校31校から800点の応募があり、その中から以下4点の最優秀賞が選出されました。たくさんの応募ありがとうございました。

他の入選作品は区ホームページに掲載しています。ぜひ、こちらをご覧ください。

最優秀賞

【小学校低学年の部】 【小学校高学年の部】 【中学校の部】 【高等学校の部】

文部科学大臣・総務大臣賞



石井 美宇さん
(緑小学校)



富澤 大さん
(緑小学校)



三村 琴音さん
(志村第四中学校)



藤原 愛さん
(東京家政大学附属女子高等学校)

編集後記

“めいせん”第41号が予定通り発行出来ましたのも、編集委員皆さんのお力によるもので、紙上をお借りして御礼を申し上げます。

当区が明るい選挙推進運動設置団体として発足してから、2017年で、60年となりました。人であれば還暦を迎えますが、私達は、この運動の原点を思い、これからも根気よく活動が続けることが大切であると考えております。有権者の皆様“めいせん”をご存じでしょうか。お読み頂くと選挙に関して新しい発見があるかも知れません。

この広報により、一人でも多くの方が、投票所へお越しくださいますように、と願うものです。

清水地区 浅野浩一

第41号 編集委員

編集長

浅野 浩一 (清水地区)

編集委員

青木 和子 (熊野地区)

後藤 カズ子 (仲町地区)

島崎 ハナ子 (富士見地区)

岡田 俊子 (志村坂上地区)

武田 和子 (蓮根・舟渡地区)

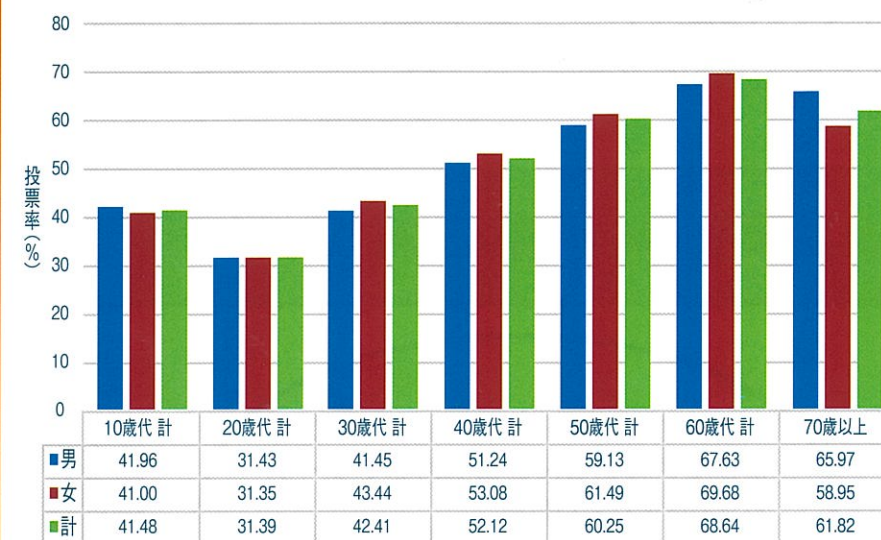
谷田部 明子 (桜川地区)

中尾 政則 (徳丸地区)

明るく選挙

★ 昨年は平成29年7月2日に東京都議会議員選挙、10月22日に衆議院議員選挙と、1年間で2回選挙が執行されました。

第48回衆議院議員選挙(小選挙区)
年代別投票率 板橋区計※在外を除く



左は10月22日執行の衆議院議員選挙(小選挙区)の年代別投票率のグラフだよ。これを見ると、20歳代の投票率が最も低いのがわかるね。
みんなで投票に参加することで大切な1票を無駄にしないようにしようね!



めいすいくん

「明るい選挙」のイメージキャラクター。明るい選挙推進運動の「明」と「推」を取って「めいすいくん」と名付けられました。投票箱がモチーフで、尻尾には鍵、背中には「明るい選挙」の実現に向かうための羽根がついています。

～若者の投票率向上を～

平成28年夏の参議院議員選挙から選挙権年齢が引き下げられました。以降、平成29年の東京都議会議員選挙までの投票率で20歳代の低さが際立っていました。そこで、平成28年、初めて立会人として協力して頂いた大学生に投票に行かない理由として考えられることを幾つか挙げてもらいました。

＊実家を離れ、住民票を移していない＊忙しい＊関心がない＊投票したい候補者・政党がない

以上を踏まえ提案して頂いたのは、

＊ネットでの投票＊大学構内に投票所を設ける＊現在、投票所のほとんどが小・中学校なので、校内でフリーマーケット・マルシェ・コミケ等の人が集まりそうなイベントを同時に開催してみる等々でした。このような若い方々の意見を、少しでも取り入れることから始めてみてはいかがでしょうか。また、このような関心を持ってくれる20歳代の方々に積極的に選挙の啓発活動に参加して頂くのもいいと思います。

投票率の向上に向けて、様々な方法が考えられますが、それ以上に若い方々が政治・選挙をより身近なものとして感じられるようにしていくことが大事ではないでしょうか。

徳丸地区 中尾 政則

大東文化大学と協働！

選挙へGO！ ～Welcome To 投票～

平成29年7月の東京都議会議員選挙では板橋区と地域連携協定を結んでいる大東文化大学の学生と協働で選挙の啓発活動を行いました。

活動の集大成として、多くの人に興味を持っていただけるようなリーフレットを作るには、どんなものがか会議を開きみんなで意見を出し合いました。そして、できあがったのがこちらのリーフレットです。(右図)「ヤバイ！」という言葉がとてもインパクトがあり、手に取ってくれた学生さんから好評でした！



啓発活動&開票従事の体験について



大東文化大学の学生さんと成増地区の推進委員の皆さんと街頭啓発でリーフレットを配りました。
めいすいくんも一緒に投票への参加を呼びかけました。



私たち自身の政治意識も変わり、私たち若者が投票に行く大切さを学ぶことができました。

今回のプロジェクトを通して選挙の仕組みや選挙啓発活動の難しさについて学ぶ、貴重な経験となりました。

佐藤 良祐

私は、自ら行動することで、若者の投票率を上げる難しさ、選挙で投票する大切さなど身をもって感じることができました。

期日前投票や開票作業にも携わらせて頂き、さらに選挙や政治に関心を持つようになりました。

木村 竜左

今回の啓発活動を通して、選挙の仕組みや若者の投票率を上げる難しさを知りました。

私たちが作成したリーフレットをたくさんの方に読んでもらい、今後の選挙で若者の投票率が上がることを期待します。

遠山 真希

この体験を通して、より多くの区民の方に選挙へ関心を持ってもらうことの難しさを知りました。

また、選挙について今まで知らなかったことを知ることができ、非常に貴重な経験をすることができました。

小倉 優

今回、選挙啓発活動に取り組んだことにより、選挙の大切さというものを改めて実感させられました。

今後も今回の活動から得た知識を使い、多くの人に選挙の大切さを呼びかけていきたいと思っています。

関 貴久



～18歳の有権者～

桜川地区 谷田部 明子

選挙における年齢が18歳に引き下げられ、昨年の東京都議会議員選挙で期日前投票立会人をした時のこと、夕方近く以外で賑やかな声が聞こえてくると、制服を着た若い人達の姿が窓から見えました。あどけなくふざけていましたが投票所に入ると一転真剣な表情になり、私達に一礼して投票を済ませる姿がとても頼もしく、うれしく思いました。

これから、この若い人達が将来の日本を背負って行くのだと、感動してしまった事を思い出しました。若い有権者の皆さん頑張って下さい、と心の中で期待を込め笑顔で、「ご苦労様、さようなら」と見送りました。

～期日前投票所～

蓮根・舟渡地区 武田 和子

期日前投票所で私が、一日投票管理をしている舟渡ホールは、浮間舟渡駅のすぐ近くにありま。当日投票所の舟渡小学校は、歩くには少し距離があるので、お年寄りや身体の不自由な方にも、この舟渡ホールはとても便利な所だと思います。以前朝から大雪に見舞われた事がありました。投票に影響がないか心配でしたが、大雪の中を次々と大勢の方が投票に来てくれた事は、今でも忘れられません。最近では、身体の不自由な方が多く来られる様になり、その中でも代理投票をされる方が目立ちました。お年寄りは勿論のこと、一般の方々にとってもここは、近くて便利な投票所だと思います。せっかくなので私もここで投票します。

～孫の初めての一票～

仲町地区 後藤カズ子

公職選挙法が1950年に制定され、満20歳から与えられていた選挙権が一昨年に18歳からと変更され、東京都知事選挙、東京都議会議員選挙、二度の投票を体験した孫娘に感想を尋ねると、候補者の選択理由は知名度とのことだった。今後、自分の投票した候補者の言動や実績を見ていきたいと話していました。また、開票の状況を見て、投票率の低さに驚いたとの事。例えば新たに選挙権を取得した若い人達に投票を促す広報活動や、投票所における立ち会いの仕事を積極的に体験してもらったらどうであろうか。

あれこれコラム

編集委員の皆さんが、選挙のことから地域のこと、また、日々の暮らしの中で思うことなどをお話します！



～投票後の見方～

富士見地区 島崎ハナ子

選挙、これほど難しいものはないと思います。

清き一票から始まる選挙、投票は第一に人柄、また国民に対する公約に期待をこめて、有権者の方々は一票を投じるわけですが、最近、新聞やテレビとかマスコミの報道に翻弄され、私達は何を信じればよいのでしょうか。議員としての責務をしっかりと果たしてほしいと思います。

～祭礼・納涼踊り大会～

志村坂上地区 岡田 俊子

志村親和町会では、納涼踊り大会を祭礼と併せて、3日間行います。大人も子供も満面の笑みを浮かべ、楽しい一時を過ごします。2年前から、神輿に使う稲穂が、どうしても調達出来なくなりましたので、育てることになりました。水車公園で苗を分けて頂き、発泡スチロールの箱に田植をしました。まず土、水遣り、肥料、日照も、その甲斐あって遅く葉を伸ばし花を咲かせ、志村育ちの稲穂を収穫しました。祭礼の日、神輿の上で、黄金色に輝いていました。とても満ち足りた気持ちです。何かを作る、育てる事に、子供達も、大人達もチャレンジしてみてもいいでしょう。

～高校生による模擬選挙に行つて～

熊野地区 青木 和子

平成28年に続き平成29年の2月13日に帝京高校の模擬選挙の手伝いに行つて来ました。授業の一環として、まず、先生の説明があり、続いて区の職員による選挙に行くときの心構えや、自分の一票が未来をつくる大きな一票になるということを知りました。その後生徒達による「個人演説会」が始まり、活発な意見交換が行なわれました。実際の選挙でも使用する記載台、投票箱、投票用紙を使い投票を行い、皆で手分けして開票作業を行い、最後に先生のまとめの話をいただき、一連の作業は終わりました。このような体験学習的なことをもっと各学級に広げていって若年層の投票率も上がって行くのではないのでしょうか。